



令和4年5月10日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部

総務広報課長

宮崎大学医学部看護学科の新設科目「ひむか看護論」「ひむか看護実習」について ～次世代を担う看護職の「地域」の視点を育てる～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学医学部看護学科では、宮崎県で暮らす人々の生活や地域を学ぶ科目「ひむか看護論」「ひむか看護実習」を令和4年度から新設する運びとなりました。この科目では、看護の対象となる人々の生活とその基盤となる「地域」に主軸を置き、看護学科の教員だけでなく、地域資源創成学部や教育学部の教員、さらには自治活動や労働、報道、安全といった地域生活を支える方々にもご協力いただきながら、講義・実習を行う予定です。

是非とも貴社媒体で取り上げていただきたく、取材をご検討くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

● 「ひむか看護論」および「ひむか看護実習」について

「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」および「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」の改正（第5次カリキュラム改正）において、看護の対象となる人々の「暮らし」や「地域」の理解を深める科目を強化することが求められています。

そこで本学医学部看護学科では、宮崎県で暮らす人々の暮らしや地域について学ぶ「ひむか看護論（1年生対象）」「ひむか看護実習Ⅰ（1年生対象）」「ひむか看護実習Ⅱ（3年生対象）」を新設する運びとなりました。

なお本科目は令和4年度入学生から適用となるため、令和4年度は「ひむか看護論（1年生対象）」「ひむか看護実習Ⅰ（1年生対象）」のみを実施予定です。日程や内容等の概要については、別紙をご覧ください。

以上

【問い合わせ先】	宮崎大学医学部看護学科 大川 百合子 (E-mail : yuriko_ookawa@med.miyazaki-u.ac.jp TEL : 0985-85-9816)
【 発信元 】	宮崎大学企画総務部総務広報課 (TEL : 0985-58-7114 FAX : 0985-58-2886)

履修年度	2022
講義コード	JBa50
授業科目	ひむか看護論
Course title	Himuka Nursing
担当教員	吉永 尚紀 / 田上 博喜 / 鶴田 来美 / 関屋 伸子 / 澤田 浩武 / 有村 保次 / 桑野 斉 / 西 和盛 / 境 泉洋 / 他
Instructor	YOSHINAGA Naoki / TANOUÉ Hiroki / TSURUTA Kurumi / SAWADA Hirotake / SEKIYA Nobuko / ARIMURA Yasuji / KUWANO Hitoshi / NISHI Kazumori / SAKAI Motohiro / Others
授業形態	講義
単位	2
対象学年	1年
開講日	前期
ナンバリングコード	
キーワード	

授業概要

看護の対象となる人々の生活とその基盤となる「地域」に軸を置き、宮崎で暮らす人々に多様な価値観・健康・生活があること、地域・生活環境と人々の生活・健康は相互作用していることを知り、さらに、地域で生活する人々・家族を支える多様な地域資源（互助）やネットワークを学ぶ。大学の所在する「地域（宮崎県）」はどのようなところか、どのような人々が暮らしているのか、どのような社会資源があり、どのような人材がどこにいるのか、それらを人々の生命と生活を支えるためにどう役立てるのか、といった「地域」の視点を持って対象への看護を考える基本的能力・態度を身につける。

育成する資質・能力(ディプロマ・ポリシーとの関連)

資質・能力	説明
人間性・社会性・国際性	倫理観：医療専門職としてのマナー、モラルを備える。 チームワーク：看護の関連領域の人々と連携して行動できる。
主体的に学ぶ力	主体性：予習、復習を自ら計画し行うとともに、課題を見つけ、学習、行動できる。
コミュニケーション能力	言語リテラシー：日本語と特定の外国語を用いてコミュニケーション、情報収集できる。 他者理解・自己表現力：他者との相互作用において、他者を理解し、自己を表現できる。
課題発見・解決力	情報リテラシー：多様化する社会ニーズに対応できる情報を収集して、理解し、活用できる。 問題解決力：課題を発見し、問題を論理的に分析して、解決できる。
知識・技能	文化・社会・自然・地域の理解：健康問題をライフサイクル、環境、文化等の視点から包括的に理解する。 専門知識・技能：看護実践に不可欠な基本的な専門知識と技術、態度を修得し、活用できる。

学習目標

身につける資質・能力

1. 地域（宮崎）で暮らす人々の多様な価値観・健康・生活について具体的に述べることができる。
2. 地域・生活環境と人々の生活・健康の相互作用について具体的に述べることができる。
3. 地域（宮崎）で生活する人々・家族を支える多様な地域資源（互助）やネットワークについて具体的に述べることができる。

授業計画

回数	日時	授業内容・方法	授業時間外の学修	備考
1	4月11日（月） 8:40～10:10	オリエンテーション（看護職として地域を学ぶ意義） 宮崎県の風土・文化・歴史 担当者：吉永尚紀、田上博喜	復習をすること	講義 演習
2	4月13日（水） 8:40～10:10	人々の健康と生活を支える社会資源 担当者：鶴田来美	予習・復習をすること	講義 演習
3	4月18日（月） 8:40～10:10	生活習慣・環境と健康のつながり（妊娠・出産・育児と女性の健康、小児～思春期） 担当者：関屋伸子、澤田浩武	予習・復習をすること	講義 演習
4	4月20日（水） 17:00～18:30	生活習慣・環境と健康のつながり（宮崎県の特産品の摂取と健康のつながり） 担当者：有村保次	予習・復習をすること	講義 演習
5	4月25日（月） 8:40～10:10	テーマ別課題学習・グループワーク 担当者：吉永尚紀、田上博喜	予習・復習をすること	講義 演習
6	4月27日（水） 8:40～10:10	テーマ別課題学習・グループワーク 担当者：吉永尚紀、田上博喜	予習・復習をすること	講義 演習
7	5月2日（月） 8:40～10:10	テーマ別課題学習・グループワーク 担当者：吉永尚紀、田上博喜	予習・復習をすること	講義 演習

授業計画				
回数	日時	授業内容・方法	授業時間外の学修	備考
8	5月9日(月) 8:40~10:10	宮崎県における自治体の政策と健康づくり 担当者: 桑野斉(地域資源創成学部)	予習・復習をすること	講義 演習
9	5月11日(水) 8:40~10:10	宮崎県における農業とその実情 担当者: 西和盛(地域資源創成学部)	予習・復習をすること	講義 演習
10	5月16日(月) 8:40~10:10	宮崎県における子ども・若者の現状と支援 担当者: 境泉洋(教育学部)	予習・復習をすること	講義 演習
11	5月18日(水) 8:40~10:10	地域の自治活動について 民生委員・児童委員の役割と活動 担当者: 地区自治会・民生委員・児童委員、吉永尚紀、田上博喜	予習・復習をすること	講義 演習
12	5月25日(水) 8:40~10:10	宮崎における報道機関の活動と役割 担当者: 宮崎日日新聞社編集局ニュースセンター、吉永尚紀、田上博喜	予習・復習をすること	講義 演習
13	5月25日(水) 15:15~16:45	暮らしの中における仕事・宮崎の雇用と労働 担当者: 宮崎労働局八ローワークプラザ宮崎、吉永尚紀、田上博喜	予習・復習をすること	講義 演習
14	5月30日(月) 8:40~10:10	安心・安全なまちづくり 担当者: 宮崎南警察署、吉永尚紀、田上博喜	予習・復習をすること	講義 演習
15	6月6日(月) 8:40~10:10	テーマ別課題学習・グループワークの発表、まとめ 担当者: 吉永尚紀、田上博喜	予習・復習をすること	講義 演習

成績評価方法			
評価手段	実施内容	評価比率	学習目標との対応
リフレクションノート	毎回の授業後のリフレクションノート(講義・演習を通しての学びや考察)の記入・提出	30%	1~3
プレゼンテーション	課題学習・グループワークを踏まえたプレゼンテーション	30%	1~3
レポート	全体の講義・演習を通しての学びや考察をレポートにまとめ、提出する	40%	1~3

成績評価基準
<p>宮崎大学医学部履修細則による。 成績評価基準は、下記の標語と評点により、秀、優、良、可を合格とし、不可は不合格とする。</p> <p>秀: 評点90~100点 優: 評点80~89点 良: 評点70~79点 可: 評点60~69点 不可: 評点0~59点</p> <p>各授業科目の講義・実験・実習及び実技のそれぞれの時間数の3分の2以上出席しなければ、原則として試験の受験資格は認められません。</p>

教材
適宜指示・配布する(教員自作の教材・資料を基本的に用いる)

教科書				
ISBN	書名	著者	出版社	価格

参考書				
ISBN	書名	著者	出版社	価格

参考URL	
サイト名	URL
宮崎県ホームページ	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/

参考資料

オフィスアワー
<p>随時: 事前にメールにて予約を取ること。通常24-48時間以内に教員からの返答をする。 件名に科目名と氏名を記入すること。</p>

オフィスアワー

吉永尚紀: naoki-y@med.miyazaki-u.ac.jp

田上博喜: hiroki_tanoue@med.miyazaki-u.ac.jp

Contact us via email to make an appointment and allow 24-48 hours for reply. Indicate your name and course name in the email title.

関連する授業科目

ひむか看護実習I

ひむか看護実習II

全基礎・地域・成人・老年・精神・小児・母性看護学分野科目

履修上の注意

アクティブ・ラーニングで進行するため、授業には積極的に参加し、また、各講義・演習に関連する書籍や各地方自治体の情報などを主体的に調べること。

令和 4 年度 ひむか看護実習 I 実習要項(一部抜粋)

I. 実習目的

宮崎県の特徴的な地理や文化の中で暮らす人々の生活と、その人々を支える多様な地域資源・ネットワーク（互助）の実際を知る。さらに、これらの体験的な学習を通して、地域に暮らす人々の生活上の課題と健康とのつながりを考える視点を学ぶ。

II. 実習目標

1. 地域における人々の暮らしの実際に触れ、地理的・社会的特徴とそれらが人々の生活に与える影響や、人々の暮らしを支える多様な地域資源・ネットワーク（互助）について理解する。
2. 地域に暮らす人々の生活および生活上の課題に触れることを通して、看護への関心を広げる。
3. 臨地での実習を通して、医療を学ぶ学生としての基本的態度及び主体的に学習する能力を身につける。

III. 実習内容および方法

1. 実習の単位（時間数）・時間

ひむか実習 I は 1 単位（45 時間）で、1 年次前期に開講する。

2. 実習場所

宮崎県西米良村役場 福祉健康課

（小学校、中学校、地域包括支援センター、農園、商店街、西米良温泉など）

3. 実習方法

- ①実習オリエンテーションを 4 月 25 日（月）に実施する。
- ②「ひむか看護論」で学んだ知識や学習方法をもとに、西米良村と人々の暮らしについて調べる。
- ③臨地実習において各実習場所を見学、体験、インタビューを通し、人々の生活上の課題、ネットワーク（互助）のあり方について考える。
- ④臨地実習終了後、人々の生活上の課題と健康とのつながりについて考察し、その解決策についてグループワークによりまとめ、発表会を行う。
- ⑤各実習場所からの報告をもとに、西米良村の健康課題について考察し、地域に暮らす人々の健康課題の相互関連と課題解決策について、各自レポート提出する。

IV. 実習スケジュール表

月日	時間	内容	
4 月 25 日（月）	15：15～16：45	実習オリエンテーション	
6 月 13 日（月）	10：00～16：00（現地滞在）	前半 G 30 名 西米良村	後半 G30 名グループワーク
6 月 14 日（火）	8：40～18：30	グループワーク（各テーマ G ごと）	
6 月 16 日（木）	10：30～18：30	グループワーク（各テーマ G ごと）	
6 月 17 日（金）	10：00～16：00（現地滞在）	前半 G 30 名グループワーク	後半 G30 名 西米良村
6 月 21 日（火）	8：40～18：30	グループワーク（各テーマ G ごと）	
6 月 22 日（水）	8：40～18：30	午前：準備	午後：発表会、実習レポート作成